

ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラム 書籍・DVDご案内



ライオンズクエスト認定講師 柴咲子の

ライフスキル授業 早わかりマップ

2018年7月発売
JIYD 販売価格 400円(税込)
A4・本文フルカラー・約30頁

全授業の概要がわかる！つながりもわかる！

- プログラムに収録されている全ての授業の概要を掲載
- 発達段階や系統的に組まれた授業のつながりがわかる
- 目的やニーズにあわせた活用方法も紹介



ライオンズクエスト認定講師 柴咲子の

ライフスキル授業 お助けレシピ

2016年4月発売
JIYD 販売価格 800円(税込)
B5・本文モノクロ・約100頁

どんな授業がちょっと知りたい、試してみたい！

- 思春期版、38授業のあらすじがわかる
- 各授業を実施する際のアドバイス、生徒の反応や効果も掲載
- 学校でライフスキル教育を推進するときのポイントも紹介



ライフスキル教育入門

学校が変わる 先生が変わる 子どもたちが変わる

2015年7月発売
JIYD 販売価格 1,200円(税込)
単行本・約180頁

ライフスキルって何？ どんなふうに活用しているの？

- ライフスキル教育3年間の調査からわかること
- 実践校での活用事例、授業者の声を掲載
- 普及活動をサポートするライオンズクラブの活動を紹介



ライオンズクエスト紹介映像 DVD

2017年3月発売
JIYD 販売価格 150円(税込)
DVD・約18分

ライフスキルとは？ ライオンズクエストとは？ 子どもたち・先生たちの声は？
そんな疑問はこの映像を見ればバッチリわかります！

書籍やDVDの購入は裏面の購入申込書、またはコチラから
<http://lionsquest-japan.org/book/>



ワークショップ参加者／主催者の声



すぐにでも使いたい手法がたくさん！

ぬいぐるみを使うことで、子どもたちとのスキンシップがとりやすいと感じました。保育園でぜひ使いたいと思います。

先生が手をあげたら、子どもたちも手をあげて静かにする『静かにするサイン』をはじめ、すぐにでも使いたい手法がたくさんあったので、実践したいです。

仲間の良いところを見つけました！

メモをとらない研修会をはじめてでした。実際にやってみると、書き留めるよりもうんと頭の中に残った気がします。

同じ職場のメンバーと受講できて本当に幸せでした。これまで気づかなかった仲間の良い部分をたくさん見つけることができました。子どもたちのためにも、まず職員のチームワークに生かしたいと思います。



ライフスキルが身近に感じられる 幼稚園／保育所(園)版

わかりやすい表現や、活動の中での気づきを多用している幼稚園版は、何となく理解していたものを再確認する良い機会になりました。また、内容や手法は、保護者やライオンズメンバーが普段の活動の中で使えるものもあり、ライフスキルがより身近に感じられました。研修内容は、職員間で子どもたちに関わるトラブルを回避するための話し合いや、共通認識をはかるためにさっそく活かしています。また栄養士や看護師も参加したこともあり、職員間のチームワークの確立にも役立っています。

社会福祉法人芳香稚草園 園長 佐藤義尚(L)



- ◆ ライオンズクエストプログラムの教材は、ワークショップ修了者のみにお渡しします。実際に教育現場で実施するためには、ワークショップの受講が必要です。ワークショップでは、会場を教室と見立て、受講者が時には子ども役でプログラムを体験、時には先生役でプログラムを実践し、ライオンズクエストプログラムの理念や考え方、手法を学んでいきます。なお、一回のワークショップ参加者数は20～30名程度を基本としています。
- ◆ ワークショップ参加費：幼稚園／保育所(園)版教材を受け取る場合、一人8,000円(教材費・昼食費等込)
- ◆ 過去にワークショップを修了している方で、幼稚園／保育所(園)版教材の追加購入をご希望の方は、JIYD までお問い合わせください。



ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラム

幼稚園／保育所(園)版のご案内

Qちゃんと学ぼう！ みんなのライフスキル



- ◆ みんなと友だちになれる
- ◆ ルールを守れる人になる
- ◆ 考えて、選ぶ力をつける
- ◆ 自分を守る、助けを呼ぶ方法を知る
- ◆ ぼくにできること、私にできることをふやす



先生も保護者のみなさんも、
いっしょにライフスキルを学べます！



<問合せ先> 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD)

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-63-302 TEL 03-3440-3373 / FAX 03-3440-4447 / MAIL info@jiyd.org

伝えてください あなたのそばにいる子どもたちへ

ライオンズクエストプログラムの生い立ち

素晴らしいことを教えてくれるプログラムはたくさんある。
しかし、失敗・挫折・困難に直面したとき、
どのように切り抜け、立ち直っていくかを教えてくれるプログラムはなかった。

1975

アメリカの青年リック・リトルが「人生で直面する困難にどのように対処すればよい
か、誰も教えてくれなかった」という思いから、困難を乗り越え、よりよく生きる力を包括
的に学べるプログラムの開発を開始。クエスト財団(後のクエストインターナショナル)
を創立しました。

1984

ライオンズクラブ国際協会(LCI)がクエストインターナショナルのパートナーとして、
プログラムの普及活動への協力、支援を開始。普及活動に携わったライオンズクラ
ブ国際協会とクエストインターナショナルが「ライオンズクエスト」の名前の由来です。

2002

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)が組織をあげて普及活動を行うため、クエストイ
ンターナショナルから著作権を取得。2014年現在、36ヶ国語に翻訳され、世界85
の国と地域で普及活動が実施されています。


日本における本プログラムは、ライオンズクラブ国際財団、アルカテル・ルーセントの支援のもと、ライオンズクラブ国際協会330複合地区、330-B/C地区と特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)のパートナーシップで開発されたものです。ライオンズクラブ国際財団が著作権を所有し、日本においてはJIYDがプログラム実施団体として指定されています。普及活動は、全国のライオンズクラブ国際協会の皆様と協同で実施しています。

ライオンズクラブ国際協会は、200を超える国と地域に広がる世界最大の奉仕クラブ組織です。「われわれは奉仕する(We Serve)」をモットーに、視力保護、環境保護、飢餓対策、青少年育成など、多様な地域事業の奉仕活動を行っています。



Lions Clubs International
FOUNDATION



Alcatel-Lucent 



特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム
Japan Initiative for Youth Development

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-63-302
TEL:03-3440-4486 FAX:03-3440-4447
E-mail:info@jiyd.org URL:http://www.jiyd.org

LIIONS QUEST ライフスキル教育プログラム ウェブサイト: <http://lionsquest-japan.org/>

紙媒体デザイン/6000円 *本頁の各ページの複製転載を禁じます。

現場の声

Comments from Classrooms

LIONS QUEST

教員間の共通理解

全教員でワークショップを受講したことで、教員間の距離が近くなった。

授業を見学し合い、気づいた点を共有することで、「一緒に作り上げていく」という連携が高まった。

1つのものに一丸となって取り組み、同僚意識が高まった。

柱となる系統だったプログラムがあることで、教員間の共通理解が持てた。

みんなで協力して時間をかけて行うことで、研究も活発になり、楽しくやりがいを感じている。



指導力向上

生徒指導が、「○○しなさい」ではなく、生徒自身の気づきを大事にするようになった。

生徒の動かし方、授業展開、視覚的な訴え方などは日頃の教科指導でも活かされた。

多面的に生徒を見る姿勢やライフスキルを使って生徒と接するようになった。指導方法の引き出しが増えた。

自分自身の授業方法を見直すきっかけになっている。活動しながら学ぶ方法、ブレインストーミング、役割分担などを参考にした。

生徒に対して叱るばかりではなく、自尊感情を高めていくという姿勢になった。

子どものタイプ(見て学ぶ、聞いて学ぶ、やって学ぶ)に合わせることや、授業展開の方法は、他の教科指導でも役に立った。



学級の変化

相手を認める姿勢が身についた。相手はどう考えているかなど、人の話を聞けるようになり、さらに人と違っても自分の意見を言えるようになり、周囲もそれを温かく認められる雰囲気になった。

さまざまな見方、視点を変えることの大切さ、他人の意見を聞くことの大切さを感じるだけでなく、そこから新しい価値観に変えていき、自分の納得した考えを自分で持つことができるようになった。

集団の中で自分を認めてもらうことが気持ちいいと感じたり、以前は恥ずかしくてグループ活動もできなかったが、グループ活動が活発になった。

認め合う集団になった。お互いの良いところを発見し、盛り上がりつつある場面が見られるようになった。輪になじめない子がいても周りが引っ張り、帰属意識が芽生えてきた。



生徒の感想

ゲームやグループ活動によって、楽しんで活動するうちに、いつの間にか、みんなと仲良くなることができました。また、自分の知らなかった社会のルールについてもわかるようになったと思います。(中学校1年生)

ライフスキルの授業をいつも楽しみにしています。普段は決して話さないような人と一緒に活動したり、仲のいい友達の知らなかった一面に気づいたりするからです。「悪い誘いの断り方」を考える活動では、話し方や態度を工夫するのがよいとわかりました。(中学校1年生)

ライフスキルの授業で、相手に自分の意志を伝えることの大切さを学びました。いろいろな活動を通して、自分自身の心はどうやって向き合えばよいかを学ぶことができました。また、友達やクラスメートと活動していく中で、友達に自分が思っていることを素直に伝えることの必要性を感じることができました。(中学校3年生)



ワークショップ

Workshop

LIONS QUEST

2日間の集中研修で指導力を身につける

実際の教材や手法を体験し、実践準備



ワークショップの特徴

- 1 学級を模し、生徒役と指導者役の双方を体験する
- 2 活動を通してプログラムを理解する
- 3 参加者が知恵や経験を持ち寄り、活動する
- 4 教育現場でプログラムをどのように活用できるか探る

必ず受講してください!

すべての指導者は、必ずワークショップを受講してください。ワークショップを修了した方のみ、教材をお渡ししています。

ワークショップの形式

〈校内型〉学校の全教員参加で実施。
〈公募型〉さまざまな学校の先生や保護者などが参加して実施。

ワークショップの主な流れ(予定)

[1日目] 午前／高め合い伸ばし合う学級づくり
午後／危険行動防止について考える
[2日目] 午前／参加者による模擬授業・準備
午後／参加者による模擬授業・発表

申込・参加費

〈参加費〉一人12,000円(教材費・昼食費込)
年間を通して全国各地で実施しています。
お近くのライオンズクラブまたはJIYDまでお問い合わせください。

思春期版授業内容

単元1 十代のみんな、思春期へGO!

単元2 本当の自信とコミュニケーションスキルの形成

単元3 心の成長と感情のコントロール

単元4 友人関係の改善

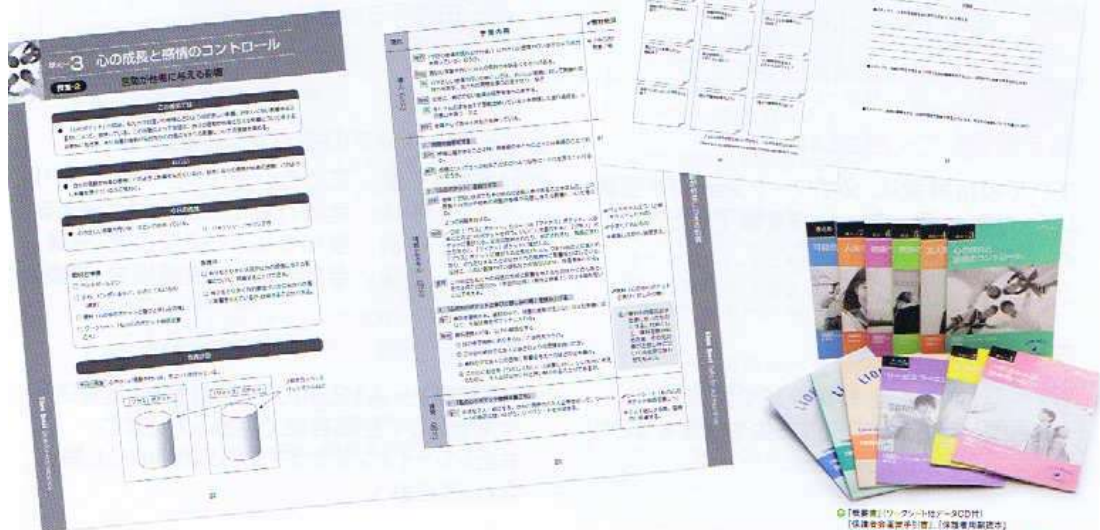
単元5 家族の絆の強化

単元6 健康への道を選ぼう

単元7 人生の道のり

まとめ 可能性の追求

サービスラーニング



◎「教養書」(ワークシートはA5サイズ)
 『保護者の皆様へ』、『発達障害児の心』
 『発達障害児の心』、『発達障害児の心』、『発達障害児の心』

思春期版

Skills for Adolescence

学びたいこと 教えたいこと

それは日々の困難を乗り越えて生きる力



理念・考え方

若者につけたい9つのスキル

- ① 自己規律・責任感・自信の形成
- ② 効果的なコミュニケーション
- ③ 感情の上手な表現
- ④ 家族や友人とのよい関係の強化
- ⑤ 問題解決や好ましい意思決定
- ⑥ 仲間からの悪い誘いの拒絶
- ⑦ 批判的思考力
- ⑧ 目標設定と計画的な実施
- ⑨ 積極的な社会参画と他の人のために活動すること

主な対象

小学校高学年～中学生・高校生

思春期版の特徴

- その1 よいクラスづくりを通してライフスキルを学ぶ！
- その2 感情を受けとめ、意欲的に行動する力を育てる！
- その3 積極的に社会参画をする力を育てる！
- その4 豊かなコミュニケーション能力と他者への思いやりを育てる！



小学生版授業内容

各学年に6つのカテゴリーを収録

単元1 みんなはこの学校のなかまだよ

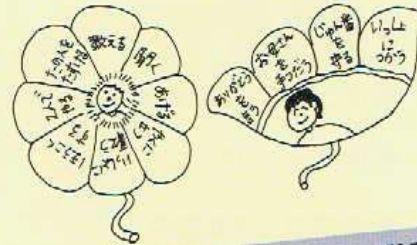
単元2 なかまとともに大きくなろう

単元3 正しい「けってい」をする力を育てる

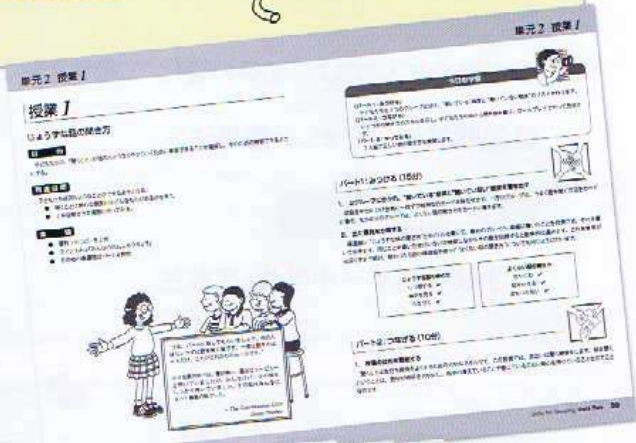
単元4 やくぶつにかかわらないで大きくなろう

単元5 あなたとわたしをたたえよう

サービスラーニング



○ライオンズ「みんなのなかま(めいご)」
【教材/保護者用ワークブック】



○「教習書」ワークシートブックCD付
【保護者用指導書】(全5巻1〜5年巻)

小学生版

Skills for Growing

先生の実顔 子どもたちの実顔

トラブルを自分たちで解決できる力

理念・考え方

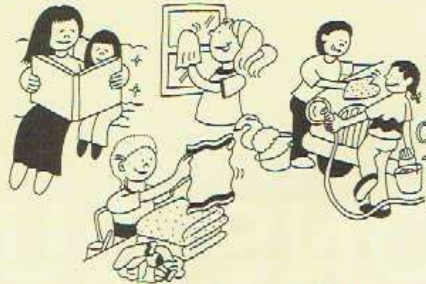
家庭と学校が手を結び、子どもたちを育てる

4つのテーマ

- ① 自己規律
- ② 責任感
- ③ 意思決定
- ④ 他者の尊重

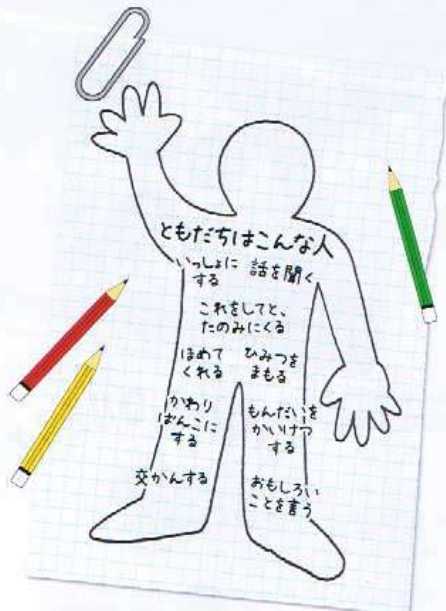
主な対象

小学校1～5年生



小学生版の特徴

- その1 楽しくライフスキルが身につく!
- その2 基礎からライフスキルが学べる!
- その3 家庭と学校を結ぶワークブック!
- その4 さまざまな教科で活用できる!





LIONS QUEST

ライフスキル教育プログラム

笑顔があふれる
クラスをつくりたい

ライオンズクエストはそんな先生の願いを叶えます

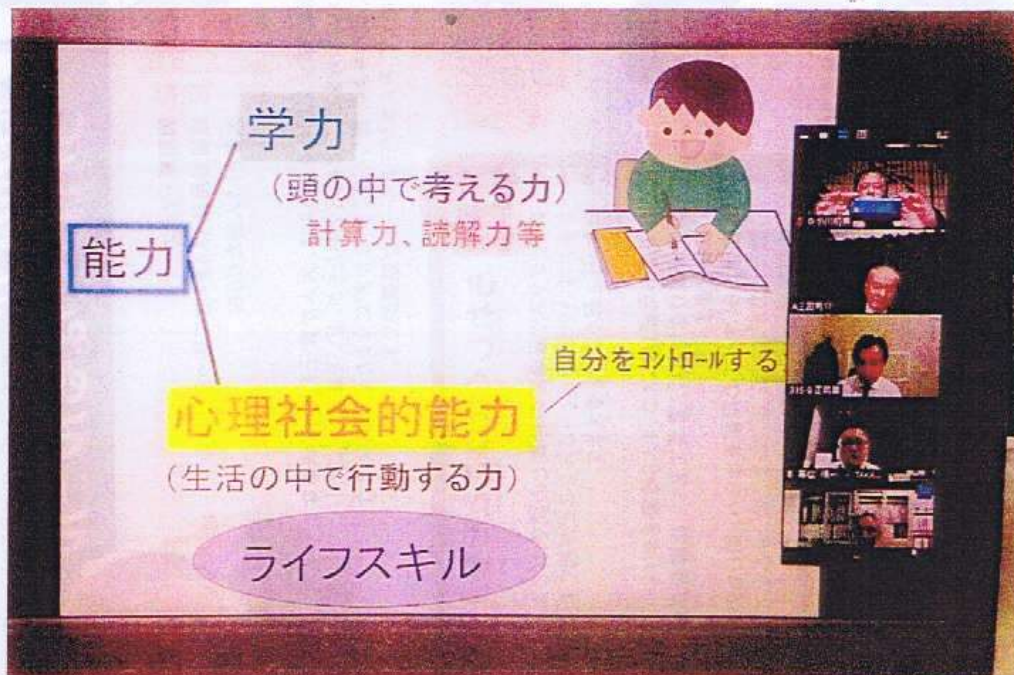
将来の社会を支える子どもたちのために何ができるのか
その答えは、このプログラムの中にあります
子どもたちを支える教育の輪、その実現への道を切り開きます



LIONS QUEST



A Program of Lions
Clubs International
Foundation



ライフスキルの授業を進めていくと...

学級の中で
家族の中で
地域の中で

培われる **自尊感情**

子ども同士のトラブルの資料を読み上げる

- ・仲間外れにされた話
- ・助けてほしい時、断られた話
- ・傷つける言葉を言われた話
- ・発表を聞いてくれない、寂しく思う話
- ・順番が回ってこない話

日本における本プログラムは、ライオンズクラブ国際財団、アルカテル・ルーセントの支援のもと、ライオンズクラブ国際協会330複合地区、330-B/C地区と特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)のパートナーシップで開発されたものです。ライオンズクラブ国際財団が著作権を所有し、日本においてはJIYDがプログラム実施団体として指定されています。普及活動は、全国のライオンズクラブ国際協会の皆様と協同で実施しています。

ライオンズクラブ国際協会は、200を超える国と地域に広がる世界最大の奉仕クラブ組織です。「われわれは奉仕する(We Serve)」をモットーに、視力保護、環境保護、飢饉対策、青少年育成など、多様な地域事業の奉仕活動を行っています。

地区ライオンズクエスト委員長のL横山より、複合地区で行われるライオンズクエストセミナーに参加するよう依頼がありました。各地区に割り当て数がありD地区は申し込みが少ないのかなと思ひ協力して参加することにしました。

コロナ過の中、zoomによるオンラインセミナーと言っても、どうしたらよいか分からないままでしたら、セミナーの前日に前記のメールが配信されてきて、当日リンクに沿って行って無事セミナーを受講することが出来ました。

受講者はA地区7名、B地区11名、C地区12名、D地区12名、事務局1名の総計43名で受講しました。

ライオンズクエストが目指すもの

- よい集団をつくる
- 健康で実り多い人生の基礎となる「ライフスキル」の指導を行う
- 薬物に関わらない生活を確立する
- 地域や学校をよりよくするために、子どもたちが奉仕活動を企画し実施する
- 子どもたちと、家族、友人、学校、地域とのつながりを強化する

ライフスキル「わかる(知識)」を「できる(行動)」にする力

やり方を知り、練習し、できる(行動できる)ようにします。

自分自身のこと

- 自己規律、責任感、自信の形成
- 感情や態度の好ましい表現
- 問題解決と健全な意思決定
- 批判的思考
- 目標設定と計画的な実施

他者との関係

- 効果的なコミュニケーション
- 家族や友人との好ましい関係の強化
- 良くない誘いへの対応
- 積極的な社会参画

ライフスキルを強化する9つの「価値」

行動の基礎となる次の9つの「価値」を強化します。

- 1 自分や他者に対する敬意
- 2 親切
- 3 健康的なライフスタイル
- 4 責任感
- 5 正直
- 6 勇気
- 7 自己規律
- 8 社会参画
- 9 家族との絆



335 複合地区ライオンズクエストセミナー報告書

幹事 小川初男

<日時>

2021年3月26日(金) 14:00～16:00 (13:45より入れます)

<Zoom ミーティング情報>

時間になりましたら、以下のリンクからご参加ください。

<https://zoom.us/j/93022423021?pwd=cU9rNSs2Q2l1U0ciV1Q4ZTZyK29mQT09>

ミーティング ID: 930 2242 3021

パスコード: 327528

<お持ち物>

A4程度の白紙4～5枚。太字マーカー1本。

<セミナーの流れ(予定)>

13:45～ 入室開始

14:00～14:05 開会

14:05～15:45 講師(柴咲子)によるセミナー

- 1 講師自己紹介
- 2 元気の出る活動
- 3 コロナ禍に影響される子どもたちの実態とライフスキル
- 4 教材の紹介
- 5 授業の紹介
- 6 ワークショップの形式とコロナ禍での実施

15:45～15:55 質疑応答

15:55～16:00 閉会

*多少の時間配分、内容の変更の可能性がございます。ご了承ください。

<お願い>

*Zoomの利用が初めての場合、事前に ZOOM をインストールいただくとスムーズです。インストールはこちらから可能です。https://zoom.us/download#client_4meeting

*カメラ、マイクが使用できる機器でご参加ください。

*セミナー内で様々な活動を予定しています。できればパソコンでご参加いただくと活動しやすいと思います。

*カメラをオンでご参加いただければ幸いです。

*セミナーは休憩をとらずに進める予定です。事前にお手洗いを済ませてください。セミナー中も必要な方はご自身の判断でご自由に席を外してください。

*Zoom入室後、開会までの時間に、画面上に表示されるご自身のお名前を「地区+お名前フルネーム」にご変更ください。「例：A山田 太郎」。

名前の変更方法が分からない場合は添付の PDF をご覧いただくか、当日その場で JIYD スタッフ(鈴木・田母神)にお声がけください。スタッフで変更いたします。

*セミナーは記録のためレコーディングいたします。

*セミナー当日、Zoomに接続できないなどの緊急のご連絡は、080-3473-2872 (JIYD 田母神)までご連絡ください。

<セミナーご受講後>

以下の URL より、簡単なアンケートにご協力をお願い致します。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScd3xQAQGv0YIGeiz7fa8SixcXkGh3M3uUNFbSOlvuMBGHsYg/viewform>

ご不明な点や事前のご質問等ございましたらご遠慮なくお問い合わせください。

お目にかかれることを楽しみにしております。

どうぞよろしくお願い致します。

.....